



2024年2月14日

各 位

会社名 K&Oエナジーグループ株式会社
代表者名 代表取締役社長 緑川 昭夫
(コード番号：1663 東証プライム)
問合せ先 総務部マネージャー 石田 広成
(TEL 0475-27-1011)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、2024年2月14日に開催した取締役会にて、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 現状分析・評価

当社は、2024年度を最終年度とする中期経営企画【中計2024（2022年～2024年）】で掲げた各種戦略を推進する中、2023年度の売上高は2022年度の過去最高売上高に次ぐ水準となり、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益は5期連続の増益となっております。

ROE（自己資本利益率）につきましては、当社グループは天然ガス開発・都市ガス事業の社会インフラ基盤をもつことから総資産が大きく、また社会インフラ企業として財務の健全性を高めたことにより自己資本比率が高く、結果としてROEは低い状態であると認識しております。2021年度までROEは3%台が続き、当社の認識する株主資本コスト（4～5%程度）を下回っておりましたが、2022年度以降はヨウ素市況の上昇や為替が円安で推移したことによる業績向上によりROEが上昇し、2023年度は7.4%まで水準を上げており株主資本コストを上回っております。

PBR（株価純資産倍率）につきましては、前述のとおり自己資本比率は高水準にあり、直近で株価が上昇したものの依然としてPBR1倍を下回る状況が続いております。2023年度末のPBRは約0.7倍となっており、株価は割安で推移しているものと考えております。

2. 方針等

当社の資本収益性や市場評価の改善に向けた方針につきましては、重点分野への積極的投資や継続的な株主還元の充実等により、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を実現することを基本方針としております。

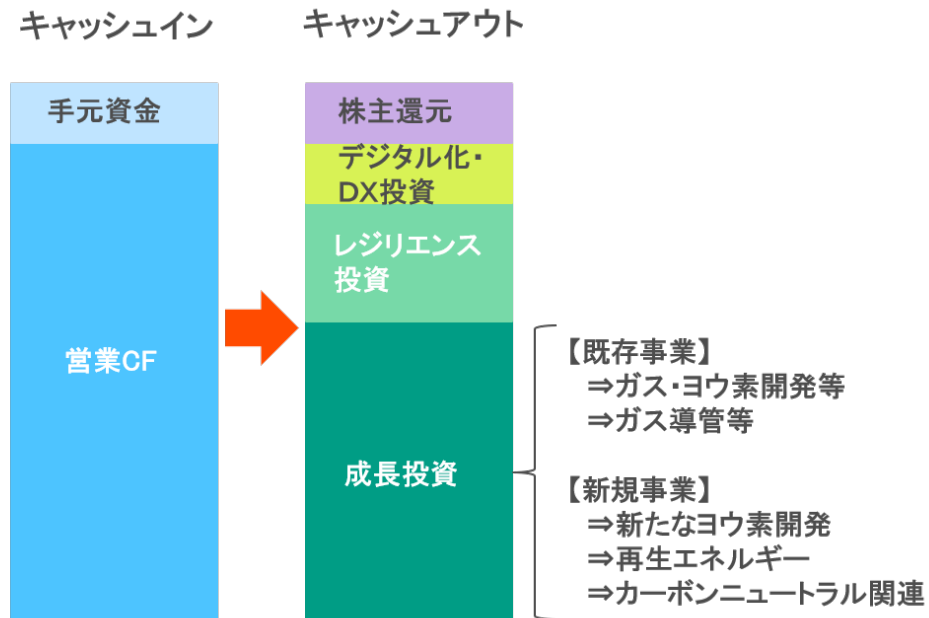
また、資本コストを上回る資本収益性を維持するために、当該コストを定期的に把握・検証するとともに、財務の健全性を確保しつつ、当社にとって、最適な資本配分を追求してまいります。

こうした方針に基づき、以下の取り組みを進めることで、PBR 1 倍超の実現を目指してまいります。

3. 取り組み内容

キャピタル・アロケーションを適切に管理することにより、成長投資、レジリエンス投資（災害時でも安定供給を実現するための設備更新等）、デジタル化・DX投資等および株主還元を戦略的に配分し、事業の成長と資本収益性の向上を図ってまいります。

【キャピタル・アロケーション(イメージ図)】



また、当社の取り組みについて、投資家の方をはじめとするステークホルダーの皆様にご理解を深めていただくため、市場を意識した情報開示および対話の充実を図ってまいります。

引き続き、現中期経営計画【中計 2024（2022 年～2024 年）】に掲げた各種戦略を推進するとともに、新中期経営計画【中計 2027（2025 年～2027 年）】の策定において、中長期的な視点での取り組みを具体化してまいります。

なお、本内容につきましては、新中期経営計画【中計 2027（2025 年～2027 年）】の策定完了後、速やかに開示いたします。

以上